

高安詰所だより

第25号

立教187年

1月23日



明るく、楽しく、暖かい高安詰所

「謹賀新年」

新年あけましておめでとうございます。旧年中は詰所の上にも何かと心をお寄せ頂き、まことにありがとうございます。お陰様で恙なく一年を終えさせて頂くことができました。どうぞ本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年はコロナ禍も漸く収まりを見せ、世の中も以前の賑わいを取り戻し始めました。おちばでも「こどもおちばがえり」を始めとする様々な催しが再開され、帰参される方々の数も日に日に増えて参りました。これに伴い詰所でも宿泊、休憩下さる信者様方はもとより、管内、地方の一般、学生団体の合宿や研修等にもご利用頂き、活気溢れる一年となりました。

年祭活動二年目の本年は、お帰り下さる信者様方も一層増えることと大いに楽しみにしています。詰所では「この家へやって来る者に、喜ばさずには一人もかえされん」という教祖お言葉を忘れず、明るく、楽しく、暖かくお迎えさせて頂きます。



詰所行事予定（二月）

- 四日 詰所常会
八日 にをいがけ実動
十四日 おつとめ勉強会
十七日 直轄祭（大教会）
二十日 勤務者修練
二十三日 大教会月次祭
二十五日 月例朝礼
二十六日 本部月次祭
二十七日 修養科第九九〇期修了式

修養科第九九三期「志願者の集い」

◎創設 一〇〇〇期！ 修養科生大募集！

昭和十六年に別科から改編された修養科は、今年二千期を迎えます。年祭の旬のこの記念すべき時に、修養科で一人でも多くの方にたすか
つて頂けよう、にをいがけおたすけに御尽力願います。



年 祭 活 動

陽気ぐらしへ

- 一に、ひながたの道
- 二に、おたすけの日々

千四百名の初席者、四百名の修養科生のご守護を

教祖百四十年祭 お願いづとめ（本部神殿）

（毎週日曜、祝日、二十五日 午前十一時半より）

・おとめ後に、西礼拝場にておさづけのお取次ぎを頂けます

おやさとひのきしん

・神苑、境内地 受付（朝づとめ後）

・おやさとやかた東棟周辺 受付（八時～十五時）

・豊田山墓地 受付（九時～十六時半）

ようぼく講習会

（日帰りコース） 次回は二月十八日（テーマ 教祖）

（二泊二日コース）新設 七月六、七日（テーマ ふしの受け方）

*詳細、申し込みは天理教ホームページ、若しくは詰所まで



詰所の動き

剪定ひのきしん

詰所の庭木は大変見事で、四季

折々に様々な美しい姿で、私達

の目を楽しませてくれていますが、その陰には沢山

の方々の丹精があります。中でも、チームを率いて

剪定ひのきしんして下さいる松村組(代表 藤本義嗣

錦部分教会長)は、年間を通して全ての樹木を心を込めて手入れして

下さっています。



門松

正月の風物詩となった詰所の門松。

ありがたいことに、毎年門松を楽し

みにして下さいる教会から、梅や南天

などの材料が届くようになりました。そうした皆様のご真実にお応え

しようと、職人梁取が腕によりを掛け、今年も立派に仕上げました。



餅つき(十二月二十八日)

詰所恒例のお餅つき。献納の御供餅を皆で心を込め力一杯搗かせ

て頂きました。今年も会宿中の熊谷高校ラグビー部や常連の武庫川

女子柔道部の部員さんらも参入、できたてお餅を、きな粉やあんこ

や大根おろしで共に美味しく頂きました。



にをいがけ実動(二月十一日)

本年最初の詰所にをいがけ実動。正月気分を払拭、勤務者一同は

勇んで櫻井市西ノ宮へと向かいました。現地では肌刺す寒風もの

ともせず、教祖のお供をさせて頂

き実動のスタートを切りました。



元旦祭 ・ お節会風景

大晦日には勤務者、修養科生一同打ち揃って親神様に一年のお礼を申し上げ、年が新たまれば本部元旦祭に参拝。年祭二年目の実動を共に誓い合いました。また五日から七日までの「お節会」も、今年からは「おかわり自由」に戻り、しかもお下がりのお餅まで頂けて、コロナ以前より満足度がアップしています。



高安詰所モットー

- 五つ いつものはなしかた
- 六つ むごいことばをださぬよう
- 七つ なんでもたすけやい
- 八つ やしきのしまりかた
- 九つ こころでいつまでも
- 十ど ところのおさめかた

(教祖お言葉)



明るく楽しく暖かい高安詰所

修養科第九〇期

・男子教養掛

坂口祥彦先生(泉東・柳島)

・女子教養掛

溝口昌美先生(泉信・伯宮)



・男子教養掛助手

保科秀樹さん(都南・東錦武)



・女子教養掛助手

山脇つつきさん(直轄)



発行 天理教高安大教会信者詰所

発行者 芦田孝廣

印刷 天理市守目堂町二五五番地一

Tel 0743・63・0421